



iPhone スマートフォン活用編

地理院地図を使って
身近な土地の情報を知ろう

目次

1. 地理院地図を知りましょう

1-A 地理院地図とは？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

2. 地理院地図の準備をしましょう

2-A 地理院地図を検索しましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

2-B ブックマークをしましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10

2-C ホーム画面に追加しましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12

3. 地理院地図を活用してみよう

3-A 地理院地図の基本画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14

3-B 地理院地図の操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

3-C 現在位置を表示してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

3-D 緯度・経度・標高を調べてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

3-E 「地図」ボタンを使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

3-F 「ツール」ボタンを使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・ P21

3-G 問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23

1

地理院地図を
知りましょう

1-A 地理院地図とは？

「**地理院地図**」は、地形図、写真、標高、地形分類など、国土地理院が捉えた日本の国土の様子を発信する**ウェブ地図**です。
スマートフォンでも簡単に正確な今の日本の姿を見ることが出来ます。

最新の道路を見る

高速道路や国道等を
開通後速やかに地図で確認できます。



土地の凹凸や標高が分かる

標高で色分けされた色別標高図を見る
ことで、身近な場所の高低差を確認
できます。



1-A 地理院地図とは？

戦前～現在の空中写真を見る

第二次世界大戦前から現在までの様々な年代の空中写真を見ることができます。



防災について歴史から学ぶ

災害発生時の空中写真や、被災状況を示した地図を見ることができます。

また防災に役立つ「自然災害伝承碑」の情報も見ることができます。



1-A 地理院地図とは？

身近な場所の防災情報を知る

身の回りの土地の成り立ちや、それによる自然災害のリスクを地図上で確認できます。

また身近な場所の指定緊急避難場所等、防災に役立つ施設情報も確認できます。



地形分類（ベクトルタイル提供実験）



指定緊急避難場所

2

地理院地図の 準備をしましょう

2-A 地理院地図を検索しましょう

地理院地図を検索しましょう

1
ホーム画面から「Safari」を
ダブルタップ

2
画面下部にある検索用の枠を
ダブルタップ

3
「地理院地図」と入力



2-A 検索しましょう

地理院地図を検索しましょう

- 4 画面右下の「開く」をダブルタップ
- 5 検索結果の中から見たい項目をダブルタップ
- 6 地理院地図を表示



2-B ブックマークをしましょう

ブックマークをしましょう

①

画面下部中央にある
「四角に上矢印」を
ダブルタップ

②

メニューの中から
「ブックマークを追加」を
ダブルタップ

③

画面右下にある「保存」を
ダブルタップ



2-B ブックマークをしましょう

保存したページをブックマークから開く方法

- 1 画面下部の「本のマーク」をダブルタップ
- 2 開きたいページをダブルタップ
- 3 見たい画面が表示されます



2-C ホーム画面に追加しましょう

ホーム画面に追加しましょう

1

画面下部の「四角に上矢印」を
ダブルタップ

2

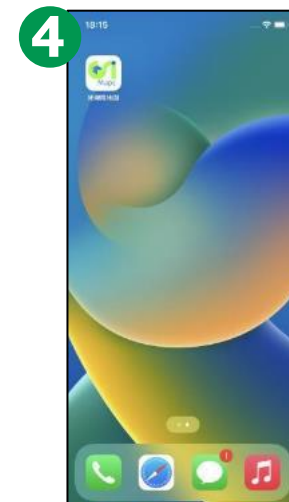
「ホーム画面に追加」を
ダブルタップ

3

画面右上の「追加」を
ダブルタップ

4

ホーム画面に追加が完了



3

**地理院地図を
活用してみよう**

3-A 地理院地図の基本画面

検索バー

気になる場所の地名や住所などを入力すると、検索結果が表示されますので、目当ての場所を選択するとその地図を表示できます

「地図」ボタン

地図ボタンからは、表示可能な様々な種類の地図や航空写真等を選択することができます。見たい項目を選択すると、地図上にその項目を重ね合わせて、表示します。

基本の画面構成



メニューボタン

右上の3本線をダブルタップすると「共有・設定・ツール」が表示されます。ツールからは、断面図や3D表示など、様々な機能を利用することが出来ます。

コンテキストメニュー

左下に配置されている「矢印」をダブルタップすると表示している地図の中心部の「住所・緯度経度・標高等」を確認できます。

3-B 地理院地図の操作方法

スマートフォンでの地理院地図の基本的な操作方法

画面に2本の指を乗せて
「広げる・つまむ」と地図を拡大・縮小することができます



画面に指を乗せて、
上下左右に動かすと地図を移動できます



3-C 現在位置を表示してみよう

GPS機能を利用して現在位置を表示してみましよう

①

画面右下の「GPSマーク」
をダブルタップ

②

位置情報の利用を尋ねられる
ので「許可」をダブル
タップ

③

現在地が表示されれば完了



3-D 緯度・経度・標高を調べてみよう

知りたい場所や建物の緯度・経度・標高から調べてみましょう

①

画面上部の検索用の枠をダブルタップ

②

「台東区役所」と入力

③

該当するものをダブルタップ

④

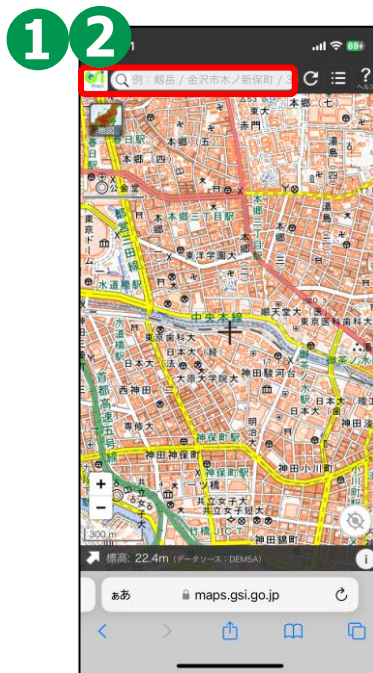
バッジをダブルタップ

⑤

画面左下の「斜め右上矢印」をダブルタップ

⑥

画面下部に緯度・経度・標高が表示されれば完了



3-E 「地図」ボタンを使ってみよう

地図ボタンから色々な場所の昔の様子
を見てみましょう

1

見たい場所を表示した状態で
画面左上の「地図マーク」を
ダブルタップ

2

「年代別の写真」をダブルタップ

3

見たい年代をダブルタップ

4

選択した年代の空中写真があれば
表示される

5

左向き三角ボタンをダブルタップして
完了です



3-E 「地図」ボタンを使ってみよう

自然災害伝承碑は、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。身近な場所に残る過去の災害の記録を見てください。

1

見たい場所を表示した状態で画面左上の「地図マーク」をダブルタップ

2

「災害伝承・避難場所」をダブルタップ

3

「自然災害伝承碑」をダブルタップ

4

「自然災害伝承碑（すべて）」をダブルタップ



3-E 「地図」ボタンを使ってみよう

自然災害伝承碑は、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。身近な場所に残る過去の災害の記録を見てみましょう。

5

自然災害伝承碑の記号が表示されます

6

知りたい伝承碑の記号をダブルタップすると碑銘と写真が表示されます

7

写真をダブルタップすると伝承内容など、より詳しい説明が表示されます



7



3-F 「ツール」ボタンを使ってみよう

地形を立体的に表示してみよう ①

①
画面上部の検索用の枠に
「富士山」と入力

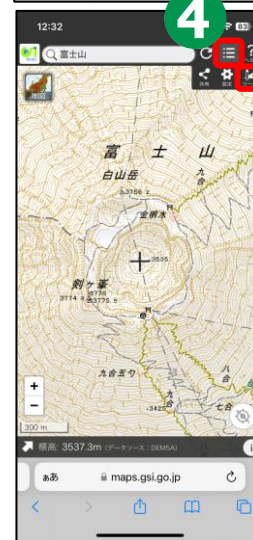
②
検索結果をスワイプし
その中から「富士山」を
ダブルタップ

③
バツ印をダブルタップ

④
右上の三本線をダブルタップ

⑤
「ツール」をダブルタップ

⑥
表示される各種のツールの中から
「3D」をダブルタップ



3-F 「ツール」ボタンを使ってみよう

地形を立体的に表示してみよう

7
作成する範囲を「大・小・カスタム」から選択する
(ここでは小を選択)

8
富士山が3Dで表示されます。
(ページが移動します)

9
①で空中写真を重ねた状態でも3Dモデルを表示できます



3-G 問い合わせ先

問い合わせ窓口一覧のウェブページがあります。
URLは以下です。

【地理院地図の使い方】

<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/index.html>

【国土地理院 問い合わせ窓口一覧】

<https://www.gsi.go.jp/contactTop.html>